

様式

年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理国語	単位数	3
		学年等	5年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書：『論理国語』（大修館書店）</p> <p>副教材：『改訂版 プログレス現代文総演習 発展編』（いいずな書店）</p> <p>『漢字マイスター頻出漢字熟語 3000』（第一学習社）</p> <p>『読解を深める現代文単語』（桐原書店）</p> <p>『完成日本文学史ノート三訂版』（京都書房）</p> <p>『論理的に読み・書く 現代文記述講座 基礎編』（数研出版）</p> <p>『現代文解法のテクニック 速読×多読2』（啓隆社）</p> <p>『文学国語セレクション』（東京書籍）</p> <p>『共通テスト対策実用文速読トレーニング』（数研出版）</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>(1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けている。</p> <p>ア 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</p> <p>イ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>ウ 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。</p> <p>エ 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p> <p>(2) 文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるように指導する。</p>	<p>(1) 書くこと</p> <p>ア 実社会やな学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。</p> <p>イ 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。</p> <p>ウ 立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。</p> <p>エ 多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。</p> <p>オ 個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の</p>	<p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるように努めている。</p> <p>(2) 多様な文章の特徴を知り、文章の構成や表現の仕方、語感等を基に考察し、他者とのかかわりの中で伝え合い、自分の思いや考えを広げようとしている。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとしている。</p> <p>(4) 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。</p>

	<p>ア 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p>イ 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。</p> <p>ウ 推論の仕方について理解を深め使っている。</p> <p>(3) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けている。</p> <p>ア 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めること。</p>	<p>主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。</p> <p>カ 文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特徴や課題を捉え直したりしている。</p> <p>(2) 読むこと</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらい要旨を把握している。</p> <p>イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。</p> <p>ウ 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。</p> <p>エ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。</p> <p>オ 関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。</p> <p>カ 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。</p> <p>キ 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係づけて自分の考えを広げたり深めたりしている。</p>	
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	世界・言葉・私 「世界を広げる『批評』の言葉」(宇野常寛) 「言葉を定義する」	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・報告書、論述、要約、発表、レポート	・振り返りシート ・授業中の行動観察 ・ワークシート

	芸術と文化 「ミロのヴィーナス」(清岡卓行) 「余白の美学」(高階秀爾) 「具体的/抽象的に書く」 共同体のいま 「家族化するペット」(山田昌弘) 「統計資料から分析したことを書く」 科学の可能性 「自己をモデル化する知能」(石黒浩) 「人工知能の可能性と罫」(西垣通) 「立場を明確にして書く」		等	
	評価点	200	200	200
2 セメ	日本語の多様性 「敬語への自覚、他者への自覚」(橋本治) 「情報を集めて分類する」 思考の枠組み 「スキーマと記憶」(今井むつみ) 社会の原点 「分かち合う社会」(山際寿一) 「意見を交流する」 政治と社会 「『である』ことと『する』こと」(丸山真男) 「対立した意見をふまえて書く」 グローバル化の先へ 「世界は、いま—『多文化世界』の構築」(青木保) 「グローバリゼーションと文化」(渡辺靖) 「調べたことをレポートにまとめる」	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・報告書、論述、要約、発表、レポート等	・振り返りシート ・授業中の行動観察 ・ワークシート
		200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1セメ	4	世界・言葉・私 「世界を広げる『批評』の言葉」(宇野常寛)	6
	5	「言葉を定義する」 芸術と文化	5
	6	「ミロのヴィーナス」(清岡卓行) 「余白の美学」(高階秀爾) 「具体的/抽象的に書く」第1回考査	8
	7	共同体のいま 「家族化するペット」(山田昌弘)	6
	8	「統計資料から分析したことを書く」	3
	9	科学の可能性	7

		「自己をモデル化する知能」(石黒浩) 「人工知能の可能性と罣」(西垣通) 「立場を明確にして書く」第2回考査	
2セメ	10	日本語の多様性 「敬語への自覚、他者への自覚」(橋本治) 「情報を集めて分類する」	7
	11	思考の枠組み 「スキーマと記憶」(今井むつみ) 社会の原点 「分かち合う社会」(山際寿一) 「意見を交流する」第3回考査	6
	12	政治と社会 『『である』ことと『する』こと』(丸山真男)	6
	1	「対立した意見をふまえて書く」 グローバル化の先へ	6
	2	「世界は、いま—『多文化世界』の構築」(青木保)	8
	3	「グローバリゼーションと文化」(渡辺靖) 「調べたことをレポートにまとめる」第4回考査	2

5 その他

- 「論理国語」では文章の種類を踏まえた上で、内容を多面的、多角的にとらえていく科目です。目の前の文章の内容を踏まえるのはもちろんですが、批判的な観点から別の主張をする文章なども読んでいきましょう。また、読むだけでなく、書く活動も行います。積極的に自身の考えを文字に起こし、互いの意見を交流させながら、学びを深めていきましょう。レポートの作成や報告書、小論文などの言語活動も評価の対象になります。
- 一部 ICT を活用して、振り返りなどの学習活動を行うことがあります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理国語	単位数	2
		学年等	5年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書：『論理国語』（大修館書店）</p> <p>副教材：『改訂版 プログレス現代文総演習 標準編』（いいずな書店）</p> <p>『漢字マイスター頻出漢字熟語 3000』（第一学習社）</p> <p>『読解を深める現代文単語』（桐原書店）</p> <p>『完成日本文学史ノート三訂版』（京都書房）</p> <p>『論理的に読み・書く 現代文記述講座 基礎編』（数研出版）</p> <p>『現代文解法のテクニック 速読×多読2』（啓隆社）</p> <p>『文学国語セレクション』（東京書籍）</p> <p>『共通テスト対策実用文速読トレーニング』（数研出版）</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>(1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けている。</p> <p>ア 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</p> <p>イ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>ウ 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。</p> <p>エ 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p> <p>(2) 文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるように指導する。</p>	<p>(1) 書くこと</p> <p>ア 実社会やな学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。</p> <p>イ 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。</p> <p>ウ 立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。</p> <p>エ 多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。</p> <p>オ 個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の</p>	<p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるように努めている。</p> <p>(2) 多様な文章の特徴を知り、文章の構成や表現の仕方、語感等を基に考察し、他者とのかかわりの中で伝え合い、自分の思いや考えを広げようとしている。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとしている。</p> <p>(4) 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。</p>

	<p>ア 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p>イ 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。</p> <p>ウ 推論の仕方について理解を深め使っている。</p> <p>(3) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けている。</p> <p>ア 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めること。</p>	<p>主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。</p> <p>カ 文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特徴や課題を捉え直したりしている。</p> <p>(2) 読むこと</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらい要旨を把握している。</p> <p>イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。</p> <p>ウ 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。</p> <p>エ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。</p> <p>オ 関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。</p> <p>カ 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。</p> <p>キ 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係づけて自分の考えを広げたり深めたりしている。</p>	
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	世界・言葉・私 「世界を広げる『批評』の言葉」(宇野常寛) 「言葉を定義する」	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・報告書、論述、要約、発表、レポート	・振り返りシート ・授業中の行動観察 ・ワークシート

	芸術と文化 「ミロのヴィーナス」(清岡卓行) 「具体的/抽象的に書く」 共同体のいま 「家族化するペット」(山田昌弘) 「統計資料から分析したことを書く」 科学の可能性 「自己をモデル化する知能」(石黒浩) 「立場を明確にして書く」		等	
	評価点	200	200	200
2 セメ	日本語の多様性 「敬語への自覚、他者への自覚」(橋本治) 「情報を集めて分類する」 社会の原点 「分かち合う社会」(山際寿一) 「意見を交流する」 政治と社会 「『である』ことと『する』こと」(丸山真男) 「対立した意見をふまえて書く」 グローバル化の先へ 「世界は、いま『多文化世界』の構築」(青木保) 「調べたことをレポートにまとめる」	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・報告書、論述、要約、発表、レポート等	・振り返りシート ・授業中の行動観察 ・ワークシート
		200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1セメ	4	世界・言葉・私 「世界を広げる『批評』の言葉」(宇野常寛)	6
	5	「言葉を定義する」 芸術と文化	5
	6	「ミロのヴィーナス」(清岡卓行) 「具体的/抽象的に書く」第1回考査	8
	7	共同体のいま 「家族化するペット」(山田昌弘) 「統計資料から分析したことを書く」	6
	8	科学の可能性	3
	9	「自己をモデル化する知能」(石黒浩) 「立場を明確にして書く」第2回考査	7

2セメ	10	日本語の多様性 「敬語への自覚、他者への自覚」(橋本治) 「情報を集めて分類する」	7
	11	社会の原点 「分かち合う社会」(山際寿一) 「意見を交流する」第3回考査	6
	12	政治と社会 『『である』ことと『する』こと』(丸山真男)	6
	1	「対立した意見をふまえて書く」	6
	2	グローバル化の先へ 「世界は、いま—『多文化世界』の構築」	8
	3	「調べたことをレポートにまとめる」第4回考査	2

5 その他

- 「論理国語」では文章の種類を踏まえた上で、内容を多面的、多角的にとらえていく科目です。目の前の文章の内容を踏まえるのはもちろんですが、批判的な観点から別の主張をする文章なども読んでいきましょう。また、読むだけでなく、書く活動も行います。積極的に自身の考えを文字に起こし、互いの意見を交流させながら、学びを深めていきましょう。レポートの作成や報告書、小論文などの言語活動も評価の対象になります。
- 一部 ICT を活用して、振り返りなどの学習活動を行うことがあります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	古典探究	単位数	3
		学年等	5年文型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書：『古典探究 古文編』（数研出版） 『古典探究 漢文編』（数研出版）</p> <p>副教材：『八訂版 読解をたいせつにする体系古典文法』（数研出版） 『読んで見て覚える重要古文単語 315』（桐原書店） 『三訂版 体系漢文』（数研出版） 『完成日本文学史ノート三訂版』（京都書房） 『三訂版プログレス古文総演習 標準編』（いいずな書店） 『三訂版プログレス漢文総演習 標準編』（いいずな書店） 『新版 古典文法習得のための助詞マスターノート』（数研出版） 『新版 古典文法習得のための敬語マスターノート』（数研出版） 『改訂版 漢文重要語マスターノート』（数研出版） 『新版 古文助動詞・漢文句法マスターノート』（数研出版） 『基礎からのジャンプアップノート 古文読解・演習ドリル』（旺文社）</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>(1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けている。</p> <p>ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>イ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。</p> <p>ウ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p> <p>エ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深め</p>	<p>(1) 読むことに関する次の事項を身に付けている。</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</p> <p>イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</p> <p>ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</p> <p>エ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察し</p>	<p>・言葉がもつ価値への認識を深めている。</p> <p>・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。</p>

	<p>ている。</p> <p>(2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けている。</p> <p>ア 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</p> <p>イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</p> <p>ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。</p> <p>エ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。</p>	<p>ている。</p> <p>オ 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>カ 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>キ 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。</p> <p>ク 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。</p>	
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	<p>○説話・随筆 『十訓抄』『大江山』 『枕草子』『すさまじきもの』</p> <p>○故事 『歴代名画記』『画竜点睛』</p> <p>○物語 『源氏物語』『桐壺』『小柴垣のもと』</p> <p>○史伝 『史記』『鴻門之会(剣舞)』</p>	<p>・定期考査等</p> <p>・小テスト</p> <p>・ワークシート</p>	<p>・定期考査等</p> <p>・論述、要約、レポート等</p>	<p>・振り返りシート</p> <p>・授業中の行動観察</p> <p>・ワークシート</p>
	評価点	200	200	200
2 セメ	<p>○日記 『更級日記』『東路の道の果て』『物語』</p> <p>○思想 『老子』『無為之治』 『莊子』『曳尾於塗中』</p> <p>○歴史物語 『大鏡』『花山天皇の出家』</p> <p>○史伝 『史記』『四面楚歌』『項王自刎』</p>	<p>・定期考査等</p> <p>・小テスト</p> <p>・ワークシート</p>	<p>・定期考査等</p> <p>・論述、要約、レポート等</p>	<p>・振り返りシート</p> <p>・授業中の行動観察</p> <p>・ワークシート</p>
	評価点	200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
1セメ	4	○説話・随筆 『十訓抄』『大江山』 『枕草子』『すさまじきもの』	9	
	5	・説話・和歌の内容を理解する ・説話の内容の構成を把握し、その表現方法について評価する	7	
	6	○故事 『歴代名画記』『画竜点睛』 ・日本の作家の名前やことわざの由来となる故事を理解する	12	
	7第一回考査	9	
		○物語 『源氏物語』『桐壺』『小柴垣のもと』		
	8	○史伝 『史記』『鴻門之会(剣舞)』	5	
	9第二回考査	10	
	2セメ	10	○日記 『更級日記』『東路の道の果て』『物語』	10
		11	○思想 『老子』『無為之治』 『莊子』『曳尾於塗中』	9
12	第三回考査	9	
		○歴史物語 『大鏡』『花山天皇の出家』	9	
1		○史伝 『史記』『四面楚歌』『項王自刎』	12	
2	第四回考査	4	
3				

5 その他

- 「言語文化」の授業では小説や詩歌などの文学作品、古文、漢文などを読みます。古文単語や漢文の語彙を調べる必要があるため辞書は必須です。
- 一部 ICT を活用して、振り返りなどの学習活動を行うことがあります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	古典探究	単位数	2
		学年等	5年理型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書：『古典探究 古文編』（数研出版） 『古典探究 漢文編』（数研出版）</p> <p>副教材：『八訂版 読解をたいせつにする体系古典文法』（数研出版） 『読んで見て覚える重要古文単語 315』（桐原書店） 『三訂版 体系漢文』（数研出版） 『完成日本文学史ノート三訂版』（京都書房） 『三訂版プログレス古文総演習 標準編』（いいずな書店） 『三訂版プログレス漢文総演習 標準編』（いいずな書店） 『新版 古典文法習得のための助詞マスターノート』（数研出版） 『新版 古典文法習得のための敬語マスターノート』（数研出版） 『改訂版 漢文重要語マスターノート』（数研出版） 『新版 古文助動詞・漢文句法マスターノート』（数研出版） 『基礎からのジャンプアップノート 古文読解・演習ドリル』（旺文社）</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>(1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けている。</p> <p>ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>イ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。</p> <p>ウ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p> <p>エ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深め</p>	<p>(1) 読むことに関する次の事項を身に付けている。</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</p> <p>イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</p> <p>ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</p> <p>エ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察し</p>	<p>・言葉がもつ価値への認識を深めている。</p> <p>・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。</p>

	<p>ている。</p> <p>(2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けている。</p> <p>ア 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</p> <p>イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</p> <p>ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。</p> <p>エ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。</p>	<p>ている。</p> <p>オ 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>カ 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>キ 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。</p> <p>ク 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。</p>	
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	<p>○説話 『十訓抄』『大江山』</p> <p>○故事 『歴代名画記』『画竜点睛』</p> <p>○物語 『源氏物語』『桐壺』『小柴垣のもと』</p> <p>○史伝 『史記』『鴻門之会(剣舞)』</p>	<p>・定期考査等</p> <p>・小テスト</p> <p>・ワークシート</p>	<p>・定期考査等</p> <p>・論述、要約、レポート等</p>	<p>・振り返りシート</p> <p>・授業中の行動観察</p> <p>・ワークシート</p>
	評価点	200	200	200
2 セメ	<p>○物語 『更級日記』『東路の道の果て』</p> <p>○史伝 『莊子』『曳尾於塗中』</p> <p>○日記 『大鏡』『花山天皇の出家』</p> <p>○思想 『史記』『四面楚歌』</p>	<p>・定期考査等</p> <p>・小テスト</p> <p>・ワークシート</p>	<p>・定期考査等</p> <p>・論述、要約、レポート等</p>	<p>・振り返りシート</p> <p>・授業中の行動観察</p> <p>・ワークシート</p>
	評価点	200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1セメ	4	○説話 『十訓抄』『大江山』 ・説話・和歌の内容を理解する	6
	5	・説話の内容の構成を把握し、その表現方法について評価する	4
	6	○故事 『歴代名画記』『画竜点睛』 ・日本の作家の名前やことわざの由来となる故事を理解する	8
	 第一回考査	
	7	○物語 『源氏物語』『桐壺』『小柴垣のもと』	7
	8	○史伝 『史記』『鴻門之会(剣舞)』	3
..... 第二回考査			
9		7	
2セメ	10	○物語 『更級日記』『東路の道の果て』	7
	11	○思想 『莊子』『曳尾於塗中』	6
	 第三回考査	
	12	○日記 『大鏡』『花山天皇の出家』	6
	1	○史伝 『史記』『四面楚歌』	6
	2 第四回考査	8
3		2	

5 その他

- 「言語文化」の授業では小説や詩歌などの文学作品、古文、漢文などを読みます。古文単語や漢文の語彙を調べる必要があるため辞書は必須です。
- 一部 ICT を活用して、振り返りなどの学習活動を行うことがあります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	地理総合	単位数	2
		学年等	5

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>私たちが暮らす日本社会は今、高度情報化や少子化・高齢化の進展、外国からの旅行者や労働者の流入などにより、異文化への理解や、新しい環境を受け入れる意識が必要とされる。そのために、多様な自然と人間の相互関係や、その文化に注目することは重要な意義となり、その資質・能力を育成することを目指していく。</p> <p>(1)グローバル化や情報化、少子高齢化など、急激な社会の変化を地理的な視点で捉えながら、平和で民主的な国家及び社会を形成するために必要な資質・能力を身に付ける。(2)現代世界における地理的認識を深めながら、地理的技能や地理的見方・考え方を習得する。(3)主体的に社会の形成に参画する態度を身に付ける。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書:新地理総合(帝国書院)、新詳高等地図(帝国書院)</p> <p>副教材:新地理資料 2023(東京法令出版)、データブック2024(二宮書店)、サクシード地理(啓隆社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	我が国及び世界の生活・文化の地域的特色や防災、地域的・地球的課題への取組などに関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けているか。	現代世界の地理的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養っているか。	現代世界の地理的諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしているか。
評価点	200	200	200

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	第2部 第1章生活文化の多様性と国際理解 ①世界の地形と人々の生活 ②世界の気候と人々の生活	考査・小テスト	考査・小テスト	学習態度 授業プリント提出 作業プリント提出
	評価点	100	100	100
2 セメ	第1部 第1章 地図と地理情報システム 第2章 結び付きを深める現代世界 第3部 第1章 自然環境と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望	考査・小テスト	考査・小テスト	学習態度 授業プリント提出 作業プリント提出
	評価点	100	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1セメ	4	第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解 序説 生活文化の多様性 1節 世界の地形と人々の生活	30
	5	2節 世界の気候と人々の生活	
	6	3節 世界の言語・宗教と人々の生活 追究事例 宗教①・②	
	7	4節 歴史的背景と人々の生活 追究事例 歴史①～③	
	8	5節 世界の産業と人々の生活	
	9		
2セメ	10	第1部 地図でとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム 1節 地球上の位置と時差	40
	11	2節 地図の役割と種類 第2章 結び付きを深める現代世界	
	12	1節 現代世界の国家と領域 2節 グローバル化する世界	
	1	第3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 1節 日本の自然環境	
	2	2節 地震・津波と防災 3節 火山災害と防災	
	3	4節 気象災害と防災 5節 自然災害への備え 第2章 生活圏の調査と地域の展望 1節 生活圏の調査と地域の展望	

5 その他

【年間の学習状況の評価方法】 1セメスタから2セメスタまでの評価を総合し、年間の評価とする。

【シラバスについて】 シラバスは予定であり、大きな変更を伴うことがある。

【授業プリントの評価について】 考査ごとの提出を求めます。プリントの整理については、板書事項だけではなく、その他説明など、より丁寧に記録することを求めます。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	日本史探究	単位数	2
		学年等	5年文系

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
使用教科書 副教材等	教科書 「詳説日本史」 山川出版社 副教材 「新詳日本史」 浜島書店 副教材 「日本史 重要語句 CheckList」 啓隆社

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評価点	200	200	200

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ スタ	[第Ⅰ部 原始・古代] 第1章 日本文化のあけぼの 第2章 古墳とヤマト政権 第3章 律令国家の形成 第4章 貴族政治の展開 第5章 院政と武士の躍進	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・討論、要約、発表等	・単元シート ・授業中の行動観察 ・ワークシート
	評価点	200	200	200
2 セメ スタ	[第Ⅱ部 中世] 第6章 武家政権の成立 第7章 武家社会の成長 第8章 近世の幕開け 第9章 幕藩体制の成立と展開 第10章 幕藩体制の動揺	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・討論、要約、発表等	・単元シート ・授業中の行動観察 ・ワークシート
	評価点	200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 セメ スタ	4	[第Ⅰ部 原始・古代] 第1章 日本文化のあけぼの 1 文化のはじまり 2 農耕社会の成立 第2章 古墳とヤマト政権 1 古墳文化の展開 2 飛鳥の朝廷	3 3
	5	第3章 律令国家の形成 1 律令国家への道 2 平城京の時代	7
	6	3 律令国家の文化 4 律令国家の変容 第1回考査 単元シートなどで評価	
	7	第4章 貴族政治の展開 1 摂関政治 2 国風文化 3 地方政治の展開と武士	7
		[第Ⅱ部 中世] 第5章 院政と武士の躍進 1 院政の始まり 2 院政と平氏政権	8
2 セメ スタ	8	第6章 武家政権の成立 1 鎌倉幕府の成立 2 武士の社会 3 モンゴル襲来と幕府の衰退 4 鎌倉文化 第2回考査 単元シートなどで評価	9 9
	9	第7章 武家社会の成長 1 室町幕府の成立 2 幕府の衰退と庶民の台頭	
	10	3 室町文化 4 戦国大名の登場	
	11	第8章 近世の幕開け 1 織豊政権 2 桃山文化 第3回考査 単元シートを評価	4
	12	第9章 幕藩体制の成立と展開 1 幕藩体制の成立 2 幕藩社会の構造	10
	1	3 幕政の安定 4 経済の発展 5 元禄文化	

	2	第10章 幕藩体制の動揺	10
		1 幕政の改革	
	3	2 宝暦・天明期の文化	
		3 幕府の衰退と近代への道	
		4 化政文化	

5 その他

<p>【課題・提出物など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎副教材の提出 ◎単元シートの提出 ◎授業プリントの提出 <p>【各考査成績の評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①活動の取り組み状況の観察(思考・判断・表現, 主体的に学習に取り組む態度) ②上記課題等の提出(知識・技能, 思考・判断・表現, 主体的に学習に取り組む態度) ③小テスト, 第1回～第4回考査, 評価問題など(知識・技能, 思考・判断・表現)

年間指導計画表(シラバス)

科目名	公共	単位数	2
		学年等	5年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 ・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。
使用教科書 副教材等	<p>使用教科書:高等学校 公共(帝国書院)</p> <p>使用問題集:高等学校 公共ノート(帝国書院)</p> <p>副教材:クローズアップ公共 2025(第一学習社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セ メ ×	第1部 私たちがつくる社会 第1章 社会の中の私たち 第2章 思想から学ぶべきもの 第3章 私たちの社会の基本原理 第2部 社会のしくみと諸課題 第1章 私たちと法	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析	・学習課題等 ・ワークシートの記述分析
	評価点	200点	200点	200点

2 セ メ	第2章 私たちと政治 第3章 私たちと経済 第3部 持続可能な社会の実現に向けて	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析	・学習課題等 ・ワークシートの記述分析
	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 セ メ	4	第1部 私たちがつくる社会	
		第1章 社会の中の私たち	
		第1節 青年期と社会参画 第2節 宗教・思想・伝統文化と社会	6 3
	5	第2章 思想から学ぶべきもの	
		第1節 倫理的な見方・考え方 第1回考査	5
	6	第3章 私たちの社会の基本原則	
		第1節 社会の基本原則と憲法の考え方	9
	7		
	8	第2部 社会のしくみと諸課題	
9	第1章 私たちと法 第1節 法の意義と司法参加 第2回考査	7	
2 セ メ	10	第2章 私たちと政治	
	11	第1節 民主社会と政治参加 第2節 国際政治の動向と平和の追求 第3回考査	7 8
	12	第3章 私たちと経済	
	1	第1節 市場経済のしくみ	8
	2	第2節 豊かな社会の実現	7
	3	第3節 国際経済の動向と格差の是正	6
	第3部 持続可能な社会の実現に向けて 第4回考査	4	

5 その他

<p>○公共の授業では自分の考えをしっかりと持った上で、ペア学習やグループ学習を通して学びを深めていきます。</p> <p>○学習課題や振り返りの提出について、Google Classroom を活用して行うことがあります。</p>
--

年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学Ⅱ・数学B・数学C	単位数	数学Ⅱ(2)・数学B(1)・ 数学C(2)
		学年等	5年文系

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>数学Ⅱ</p> <p>(1)いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする。</p> <p>関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>(3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> <p>数学B</p> <p>(1)数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活とのかかわりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の家庭や結果を振り返って考察したりする力を養う。</p> <p>(3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> <p>数学C</p> <p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1)ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
-------------	--

使用教科書 副教材等	使用教科書:数学Ⅱ・数学B・数学C (数研出版) 傍用問題集:サクシード数学Ⅱ+B+C[ベクトル](数研出版) 副教材:チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B+C[ベクトル] (数研出版) キートレーニング数学演習ⅠⅡABC(数研出版)
---------------	--

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に関して論理的に考察する力, 構成要素間の関係に着目し, 方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり, 図形の性質を論理的に考察したりする力, 関数関係に着目し, 事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力, 関数の局所的な変化に着目し, 事象を数学的に考察したり, 問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。 ・図形の構成要素間の関係などに着目し, 図形の性質を見だし, 論理的に考察する力, 不確実な事象に着目し, 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力, 数学と人間の活動との関わりに着目し, 事象に数学の構造を見だし, 数理的に考察する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり, 粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとしている。
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	数学Ⅱ 微分積分(既習事項の復習) 数学B 数列(既習事項の復習) 数学B 統計的な推測 数学C ベクトル 問題演習(キートレーニング)	・定期考査等 ・授業中の行動観察	・定期考査等 LISIゼミの 記述分析	・学習課題等 ・PDCAシートの 記述分析
		200	200	200
2セ メ	問題演習(キートレーニング)	・定期考査等 ・授業中の行動観察	・定期考査等 LISIゼミの 記述分析	・学習課題等 ・PDCAシートの 記述分析
		200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1セメ	4	数学Ⅱ・数学Bの既習事項の復習	5
	5	数学C 平面上のベクトル 第1回考査(LISIゼミ①)	20
	6	数学C 空間のベクトル	15
	7	数学B 統計的な推測	10
	8	問題演習	11
	9 第2回考査(LISIゼミ②)	20
	2セメ	10	問題演習
11		問題演習 第3回考査(LISIゼミ③)	10
12		問題演習	10
1		問題演習	15
2		問題演習	20
3	 第4回考査(LISIゼミ④)	

5 その他

- 詳細や変更点などは別途配布する「対応表」で確認すること。
- セメスターごとに探究的な活動(LISIゼミなど)を行います。
- ICTの活用も一部で行います。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学B・数学C	単位数	数学Ⅱ(2)・数学B(1) 数学Ⅲ(1)・数学C(1)
		学年等	5年理系

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>数学Ⅱ</p> <p>(1)いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする。</p> <p>関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>(3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> <p>数学Ⅲ</p> <p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1)極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>(3)数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> <p>数学B</p> <p>(1)数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活とのかかわりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の家庭や結果を振り返って考察したりする力を養う。</p> <p>(3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
-------------	---

	<p>数学 C</p> <p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
<p>使用教科書 副教材等</p>	<p>使用教科書: 数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学 B・数学 C (数研出版)</p> <p>傍用問題集: サクシード数学Ⅱ+B+C[ベクトル], 数学Ⅲ+C[複素数平面, 式と曲線](数研出版)</p> <p>副教材: チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B+C[ベクトル]、数学Ⅲ+C[複素数平面, 式と曲線](数研出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>・学習内容についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</p> <p>・事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。</p>	<p>・学習内容に関して論理的に考察する力, 構成要素間の関係に着目し, 方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり, 図形の性質を論理的に考察したりする力, 関数関係に着目し, 事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力, 関数の局所的な変化に着目し, 事象を数学的に考察したり, 問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。</p> <p>・図形の構成要素間の関係などに着目し, 図形の性質を見だし, 論理的に考察する力, 不確実な事象に着目し, 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力, 数学と人間の活動との関わりに着目し, 事象に数学の構造を見だし, 数理的に考察する力を身に付けている。</p>	<p>・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり, 粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。</p> <p>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとしている。</p>
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	数学Ⅱ 微分積分(既習事項の復習) 数学B 数列(既習事項の復習) 数学C ベクトル 数学Ⅲ 関数・極限	・定期考査等 ・授業中の行動観察	・定期考査等 LISIゼミの 記述分析	・学習課題等 ・PDCAシート の記述分析
		200	200	200
2セ メ	数学Ⅲ 微分法・微分法の応用 数学Ⅲ 積分法・積分法の応用 数学C 複素数平面・式と曲線	・定期考査等 ・授業中の行動観察	・定期考査等 LISIゼミの 記述分析	・学習課題等 ・PDCAシート の記述分析
		200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1セメ	4	数学Ⅱ・数学Bの既習事項の復習	5
	5	数学C 平面上のベクトル 第1回考査(LISIゼミ①)	20
	6	数学C 空間のベクトル	15
	7	数学Ⅲ関数	10
	8	数学Ⅲ極限	11
	9 第2回考査(LISIゼミ②)	20
2セメ	10	数学Ⅲ 微分法・微分法の応用	20
	11	数学Ⅲ 積分法 第3回考査(LISIゼミ③)	10
	12	数学Ⅲ積分法の応用	10
	1	数学C 複素数平面	15
	2	数学C 式と曲線	20
	3 第4回考査(LISIゼミ④)	

5 その他

<ul style="list-style-type: none"> ○ 詳細や変更点などは別途配布する「対応表」で確認すること。 ○ セメスターごとに探究的な活動(LISIゼミなど)を行います。 ○ ICTの活用も一部で行います。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	物理	単位数	3
		学年等	5

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>物体の運動、様々な物理現象とエネルギーの関わりを、さまざまな物理量、図法を用いて解析し、自然を物理法則と物理的な手法により理解することを目指し、以下の資質・能力を育成する。</p> <p>(1)熱力学の現象を分子の運動とエネルギーの概念を用いて理解する。波動に関する現象を抽象的な位相を中心に理解する。力学現象を運動量と力積などの物理量の定義により理解する。</p> <p>(2)物理法則を学び、図を描いて物理量の関係を把握し、数式による方程式を立式して解を求めることができる。</p> <p>(3)物理現象を観察し、実験を企画することで、物事を科学的に探究する資質・能力を身に付ける。</p>		
使用教科書 副教材等	教科書	「高等学校 物理」第一学習社	
	副教材	「セミナー物理基礎+物理」第一学習社 物理のエッセンス	

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	事物、現象について基本的な概念や原理・法則を理解し、それを知識として身につけているか。テストでは知識、概念の理解、及び実験技能の習得状況について評価するための問題を出题する。	文章、図表から物理的状況を把握し、物理法則から方程式を導き、解を求めてその物理的な解釈ができるか。思考をすすめるために適切な図が描けるか。物理的な問題を解決し、正しく表現できるか。これらを、テストによって評価する。	物理現象に対する関心、理解しようとする意欲が、実験・観察の力に現れると考え、実験レポートにより評価する。学習態度については、テスト類への取り組み状況で評価する。演習ノート等の作成状況、物理レポートなど提出物の状況を、主体的に学習に取り組んでいるかの評価に利用する。
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ スタ	[第1章 運動とエネルギー] 第5節 気体の性質と分子の運動 [第2章 波動] 第1節 波の性質 第2節 音波	考查・課題テスト 小テスト	考查・課題テスト 小テスト	学習態度 演習ノート 実験プリント 物理レポート
	評価点	200	200	200
2 セメ スタ	第3節 光波 [第1章 運動とエネルギー] 第3節 運動量の保存 第4節 円運動と単振動	考查・課題テスト 小テスト	考查・課題テスト 小テスト	学習態度 演習ノート 実験プリント 物理レポート
	評価点	200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 セメ スタ	4	〔第1章 運動とエネルギー〕 第5節 気体の性質と分子の運動 熱力学の理論を学ぶ	51
	5	実験を観察し、物理レポートを提出して評価 第1回考査 熱力学について出題 演習ノート进行评估	
	6	〔第2章 波動〕 第1節 波の性質	
	7	波の性質について、位相を中心に学ぶ 波動の基礎論についての実験を観察し、物理レポートを提出して評価 第2節 音波	
	8	音波についての理論を学ぶ 音波についての実験をし、実験レポートを提出して評価	
	9	第2回考査 波動基礎、音波について出題 演習ノート进行评估	
2 セメ スタ	10	第3節 光波 光波について理論を学ぶ	54
	11	光波についての実験をし、実験レポートを提出して評価 第3回考査 光波について出題 演習ノート进行评估	
	12	〔第1章 運動とエネルギー〕 第3節 運動量の保存	
	1	運動量と力積の概念、衝突現象を学ぶ 第4節 円運動と単振動	
	2	円運動について理論を学ぶ 第4回考査 運動量保存、円運動について出題 演習ノート評価	
	3		

5 その他

- ・授業では物理量の定義、法則を理解して典型的な物理系を理解することに多くの時間を配分する。
- ・生徒間で協働する場面を多数設定するので、積極的に活動し、新しい学力を身に付けること。
- ・生徒実験や、演示実験を観察した際に実験プリントの作成、物理レポートを課す。
- ・小テスト、課題テスト、考査の成績をもとに、粘り強く計画的に学習する力を評価する。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	化学基礎	単位数	2
		学年等	5年生文科型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	物質の構造と反応を理解し、化学的な事物や現象に関する探究活動を実践することにより、化学的な見方、および考え方を養うとともに、科学の発展・科学技術の進歩を体系的に捉え、日常生活とのかわりについて理解を深める。
使用教科書 副教材等	教科書:化学基礎 改訂版(数研出版) 問題集:センサー化学基礎 4rd Edition(啓林館)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	物質やその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。また、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	物質とその変化の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら物質やその変化について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身につけている。
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	第1編 第1章 物質の構成 第1編 第2章 物質の構成粒子 第1編 第3章 (1)イオン結合 (2)分子と共有結合 (3)分子間にはたらく力 (4)共有結合結晶 (5)金属結合 第2編 第1章 物質と化学反応式	考查・課題テスト 小テスト 実験プリント	考查・課題テスト 小テスト 実験プリント	学習態度 演習ノート レポート 提出物
	評価点	200	200	200
2 セメ	第2編 第1章 物質と化学反応式 第2編 第2章	考查・課題テスト 小テスト 実験プリント	考查・課題テスト 小テスト 実験プリント	学習態度 演習ノート レポート

	酸と塩基の反応 第2編 第3章 酸化還元反応			提出物
	評価点	200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
1セメ	4	第1編 第1章 物質の構成	6	
	5	第1編 第2章 物質の構成粒子	9	
		第1編 第3章 物質と化学結合	3	
	6	(1)イオン結合 (2)分子と共有結合 第1回考査	12	
		(3)分子間にはたらく力 (4)共有結合結晶		
	8	(5)金属結合		
	9	第2編 第1章 物質と化学反応式 第2回考査	5	
	2セメ	10	第2編 第1章 物質と化学反応式	8
		11	第2編 第2章 酸と塩基の反応 第3回考査	15
第2編 第3章				
1		酸化還元反応	12	
2				
3	 第4回考査		

5 その他

--

年間指導計画表(シラバス)

科目名	化学基礎+化学	単位数	4(化学基礎2・化学2)
		学年等	5年生理科型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	物質の構造と反応を理解し、化学的な事物や現象に関する探究活動を実践することにより、化学的な見方、および考え方を養うとともに、科学の発展・科学技術の進歩を体系的に捉え、日常生活とのかわりについて理解を深める。
使用教科書 副教材等	教科書:化学基礎 改訂版(数研出版), 化学 改訂版(数研出版) 問題集:センサー総合化学 3rd Edition(啓林館) 資料集:フォトサイエンス化学図録(数研出版)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	物質やその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。また、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	物質とその変化の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら物質やその変化について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身につけている。
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ スタ	化学基礎 第1編 第1章 物質の構成 第2章 物質の構成粒子 第3章 粒子の結合 化学基礎 第2編 第1章 物質質量と化学反応式化学基礎 第2章 酸と塩基の反応 第3章 酸化還元反応	考查・課題テスト 小テスト 実験プリント	考查・課題テスト 小テスト 実験プリント	学習態度 演習ノート レポート 提出物
	評価点	200	200	200
2 セメ スタ	化学 第2編 第2章 電池と電気分解 ・化学 第1編 第1章 粒子の結合と結晶 第2章 物質の状態変化	考查・課題テスト 小テスト 実験プリント	考查・課題テスト 小テスト 実験プリント	学習態度 演習ノート レポート 提出物

第3章 気体 第4章 溶液 化学 第2編 第1章 化学反応とエネルギー 第3章 化学反応の速さとしくみ 第4章 化学平衡 化学 第3編 第1章 非金属元素 第2章 金属元素(I)-典型元素- 第3章 金属元素(II)-遷移元素-			
評価点	200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1セメ	4	化学基礎 第1編 第1章 物質の構成	7
	5	第2章 物質の構成粒子	7
		第3章 粒子の結合	12
	6	化学基礎 第2編 第1章 物質と化学反応式化学基礎	9
	 第1回考査	
	7	第2章 酸と塩基の反応	16
	8	第3章 酸化還元反応	14
	9 第2回考査	
		化学 第2編 第2章 電池と電気分解	5
2セメ	10	化学 第1編 第1章 粒子の結合と結晶	5
		第2章 物質の状態変化	5
	11	第3章 気体	10
		第4章 溶液	10
	 第3回考査	
	12	化学 第2編 第1章 化学反応とエネルギー	8
		第3章 化学反応の速さとしくみ	5
	1	第4章 化学平衡	12
	2	化学 第3編 第1章 非金属元素	6
		第2章 金属元素(I)-典型元素-	4
	3	第3章 金属元素(II)-遷移元素-	5
 第4回考査		

5 その他

・1 セメスタで化学基礎を評価し、2 セメスタから化学を評価する。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	生物基礎演習 I	単位数	1
		学年等	5年生文科型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	生物基礎で学習した知識・技能・探究する力を基に、日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生命現象についての理解をより一層深める。観察・実験を行うことなどを通して、科学的に探究するための必要な考え方や技能を発展させる。実験計画の立案や結果の考察を行い、レポート作成やプレゼンテーション等を通じて、自己の考えを表現する能力を養う。
使用教科書 副教材等	教科書：高等学校 生物基礎(第一学習社)(継続使用) 問題集：2024 セミナー生物基礎(第一学習社)(継続使用) 進研 WINSTEP 生物基礎(ラーズ)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生命現象について理解したか。 生物学的に探究するために必要な、観察・実験などに関する基本的な技能を身につけたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察・実験などを行うために、情報収集・仮説の設定・実験の計画などを行う力を身につけたか。 実験結果の分析・解釈・推論など探究の方法を習得したか。 レポートの作成や発表を通して、自らの考えを表現できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 生物や生命現象に対して、主体的に関わり、そこから生じる課題を解決しようとする態度などを養えたか。 生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度などを養えたか。
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1セメ	【第1編】生物の特徴 第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とその働き 【第2編】ヒトのからだの調節 第3章 ヒトのからだの調節	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 課題テスト 単元テスト 課題等の提出物 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 課題テスト 単元テスト 実験レポート等の提出物 	<ul style="list-style-type: none"> 各種テストへの取組姿勢 各種提出物への取組姿勢 学習活動全般
	評価点	200	200	200
2セメ	【第2編】ヒトのからだの調節 第3章 ヒトのからだの調節 【第3編】生物の多様性と生態系 第4章 植生と遷移 第5章 生態系とその保全	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 課題テスト 単元テスト 課題等の提出物 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 課題テスト 単元テスト 実験レポート等の提出物 	<ul style="list-style-type: none"> 各種テストへの取組姿勢 各種提出物への取組姿勢 学習活動全般
	評価点	200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1セメ 前半	4 5 6	第1章 生物の特徴 第1節 生物の共通性 ・生物は多様でありながら共通性をもっていることを、見出して理解する。 第2節 生物とエネルギー ・生命活動にエネルギーが必要であることを、代謝とATPを関連付けて理解する。 ○ 第1回考査	16
1セメ 後半	6 7 8 9	第2章 遺伝子とその働き 第1節 遺伝子の本体とその構造 ・遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴を、見出して理解する。 第2節 遺伝情報とタンパク質 ・DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列の関係を、見出して理解する。 第3章 ヒトのからだの調節 第1節 情報の伝達と体内環境の維持 ・実験などを通して、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを、見出して理解する。 ○ 第2回考査	18
2セメ 前半	9 10 11	第3章 ヒトのからだの調節 第2節 免疫 ・資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを、見出して理解する。 第4章 植生と遷移 第1節 植生と遷移 ・資料に基づいて、遷移の要因を見出して理解する。 ○ 第3回考査	16
2セメ 後半	11 12 1 2 3	第4章 植生と遷移 第2節 バイオーム ・植生の遷移を、バイオームと関連付けて理解する。 第5章 生態系とその保全 第1節 生態系と生物の多様性 ・生物の種多様性と生物間の関係性を、関連付けて理解する。 第2節 生態系のバランスとその保全 ・資料に基づいて、生態系のバランスと人為かく乱とを、関連付けて理解する。 ○ 第4回考査 総復習	20

5 その他

【年間の学習状況の評価方法】

1セメスタから2セメスタまでの評価を総合し、年間の評価とする。

【シラバスについて】

シラバスは予定であり、5年時の生物の進度や授業の内容の理解度により進度を変更することがある。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	生物	単位数	3
		学年等	5

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 「高等学校 生物」第一学習社</p> <p>副教材 「2025 新課程 セミナー生物」第一学習社</p> <p>資料集 「新課程スクエア最新図説生物」(第一学習社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>自然や生物や生命現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</p> <p>観察・実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録・整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。</p>	<p>自然や生物や生命現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</p>	<p>自然や生物や生命現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。また、考査への取り組み、ノート等の作成、レポートや振り返り、提出物などを通じて、自己の課題を認識し、改善するための手立てを講じている。</p>
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ スタ	<p>[第1章 生物の進化]</p> <p>第1節 生命の起源と細胞の進化</p> <p>第2節 遺伝子の変化と遺伝子の組み合わせの変化</p> <p>第3節 進化のしくみ</p> <p>[第2章 生物の系統と進化]</p> <p>第1節 生物の系統</p> <p>第2節 人類の系統と進化</p>	<p>考査・課題テスト</p>	<p>考査・課題テスト</p>	<p>学習態度</p> <p>授業・実験プリント</p> <p>振り返りプリント</p>
	評価点	200	200	200
2 セメ スタ	<p>[第3章 細胞と分子]</p> <p>第1節 生体物質と細胞</p> <p>第2節 タンパク質の構造と性質</p> <p>第3節 生命現象とタンパク質</p>	<p>考査・課題テスト</p> <p>実験プリント</p>	<p>考査・課題テスト</p> <p>実験プリント</p>	<p>学習態度</p> <p>授業・実験プリント</p> <p>振り返りプリント</p>

	〔第4章 代謝〕 第1節 代謝とエネルギー 第2節 炭酸同化 第3節 異化 〔第5章 遺伝情報とその発現〕 第1節 DNAの複製 第2節 遺伝子の発現			
	評価点	200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 セメ スタ	4	〔第1章 生物の進化〕 第1節 生命の起源と細胞の進化	47
	5	①生命の誕生 ②細胞の進化 第2節 遺伝子の変化と遺伝子の組み合わせの変化	
	6	①遺伝子とその変化 ②遺伝子の組み合わせの変化 第1回考査 生命の起源と細胞の進化について出題 第1回考査, 授業プリント, 振り返りプリントを評価	
	7	第3節 進化のしくみ ①進化のしくみ ②種分化	
	8	〔第2章 生物の系統と進化〕 第1節 生物の系統 ①生物の系統と分類 ②細菌(バクテリア)とアーキア(古細菌)	
2 セメ スタ	9	③真核生物(ユーカリア) 第2節 人類の系統と進化 ①人類の系統と進化 第2回考査 生物の系統と進化について出題 第2回考査, 授業プリント, 振り返りプリントを評価	
	10	〔第3章 細胞と分子〕 第1節 生体物質と細胞 ①細胞を構成する物質 第2節 タンパク質の構造と性質 ①タンパク質の構造と性質 第3節 生命現象とタンパク質 ①酵素 ②膜輸送タンパク質 ③受容体 第3回考査 細胞と分子について出題 第3回考査, 実験レポート, 授業プリント, 振り返りプリントを評価	
	11		

12	<p>〔第4章 代謝〕</p> <p>第1節 代謝とエネルギー</p> <p>①同化と異化</p>	58
1	<p>第2節 炭酸同化</p> <p>①光合成と葉緑体</p> <p>②光合成の過程</p>	
2	<p>第3節 異化</p> <p>①呼吸とミトコンドリア</p> <p>②発酵</p>	
	<p>第4回考査 代謝について出題</p> <p>第4回考査, 実験レポート, 授業プリント, 振り返りプリントを評価</p>	
3	<p>〔第5章 遺伝情報とその発現〕</p> <p>第1節 DNAの複製</p> <p>①DNAの構造と複製</p>	
	<p>第2節 遺伝子の発現</p> <p>①転写</p> <p>②翻訳</p>	

5 その他

【年間の学習状況の評価方法】

1セメスタから2セメスタまでの評価を総合し, 年間の評価とする。

【シラバスについて】

シラバスは予定であり, 4年時の生物基礎の進度や授業の内容の理解度により進度を変更することがある。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	体育(男子)	単位数	2
		学年等	5学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。
使用教科書 副教材等	現代高等保健体育(大修館書店)、Active Sports 総合版(大修館書店)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。
評価点	200	200	200

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1セ メス ター	I期【体育実技】 ○体づくり運動 ○選択① ・バドミントン ・卓球 ・バレーボール ・バスケットボール ・テニス ・サッカー ・ソフトボール ○体育理論 体育編2単元 運動・スポーツの学び方 1. スポーツにおける技能と体力 2. スポーツにおける技術と戦術	実技テスト(基礎) 筆記テスト(種目ごと) 筆記テスト(体育理論)	実技テスト(発展) 課題プリント	授業観察 授業(学習)プリント
		50	50	50
	II期【体育実技】 ○選択② ・バドミントン ・卓球	実技テスト(基礎) 筆記テスト(種目ごと) 筆記テスト(体育理	実技テスト(発展) 課題プリント	授業観察 授業(学習)プリント

	<ul style="list-style-type: none"> ・バレーボール ・バスケットボール ・テニス ・サッカー ・ソフトボール ○体育理論 体育編2単元 運動・スポーツの学び方 3. 技能の上達過程と練習 4. 効果的な動きのメカニズム	論)		
		50	50	50
2セ メス ター	Ⅲ期【体育実技】 ○選択③ <ul style="list-style-type: none"> ・バドミントン ・卓球 ・バレーボール ・バスケットボール ・テニス ・サッカー ・ソフトボール ○体育理論 体育編2単元 運動・スポーツの学び方 5. 体カトレーニング 6. 運動やスポーツでの安全の確保	実技テスト(基礎) 筆記テスト(種目ごと) 筆記テスト(体育理論)	実技テスト(発展) 課題プリント	授業観察 授業(学習)プリント
		50	50	50
	Ⅳ期【体育実技】 ○陸上競技 <ul style="list-style-type: none"> ・長距離走 ○球技 <ul style="list-style-type: none"> ・サッカー 	実技テスト(基礎) 筆記テスト(種目ごと)	実技テスト(発展) 課題プリント	授業観察 授業(学習)プリント
	50	50	50	

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
----	---	----------	----

1セ メス ター	4	I期【体育実技】 ○体づくり運動	35
	5	○選択①	
	6	○体育理論 体育編2単元 運動・スポーツの学び方 1. スポーツにおける技能と体力 2. スポーツにおける技術と戦術	
	7	II期【体育実技】 ○選択②	
	8	○体育理論	
2セ メス ター	9	体育編2単元 運動・スポーツの学び方 3. 技能の上達過程と練習 4. 効果的な動きのメカニズム	35
	10	III期【体育実技】 ○選択③	
	11	○体育理論	
	12	体育編2単元 運動・スポーツの学び方 5. 体カトレーニング 6. 運動やスポーツでの安全の確保	
	1	○陸上競技 ・長距離走	
	2	○球技	
	3	・サッカー	

5 その他

- ・ICT 機器等も活用しながら授業を展開していく。
- ・グループ活動や生徒同士の協同学習の場面も積極的に取り入れながら授業を行い、活動への参加姿勢も評価の対象とする。
- ・種目ごとに学習プリントを提出させ、その都度、評価していく。
- ・実技種目への参加姿勢、授業での取り組みを総合して評価していく。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	体育(女子)	単位数	2
		学年等	5学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。
使用教科書 副教材等	現代高等保健体育(大修館書店)、Active Sports 総合版(大修館書店)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他社に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。
評価点	200	200	200

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1セ メス ター	I期【体育実技】 ○体づくり運動 ○選択① ・バドミントン ・卓球 ・バレーボール ・バスケットボール ・テニス ・サッカー ・ソフトボール ○体育理論 体育編2単元 運動・スポーツの学び方 1. スポーツにおける技能と体力 2. スポーツにおける技術と戦術	実技テスト(基礎) 筆記テスト(種目ごと) 筆記テスト(体育理論)	実技テスト(発展) 課題プリント	授業観察 授業(学習)プリント
		50	50	50
	II期【体育実技】 ○選択② ・バドミントン ・卓球	実技テスト(基礎) 筆記テスト(種目ごと) 筆記テスト(体育理	実技テスト(発展) 課題プリント	授業観察 授業(学習)プリント

	<ul style="list-style-type: none"> ・バレーボール ・バスケットボール ・テニス ・サッカー ・ソフトボール ○体育理論 体育編2単元 運動・スポーツの学び方 3. 技能の上達過程と練習 4. 効果的な動きのメカニズム	論)		
		50	50	50
2セ メス ター	III期【体育実技】 ○選択③ <ul style="list-style-type: none"> ・バドミントン ・卓球 ・バレーボール ・バスケットボール ・テニス ・サッカー ・ソフトボール ○体育理論 体育編2単元 運動・スポーツの学び方 5. 体カトレーニング 6. 運動やスポーツでの安全の確保	実技テスト(基礎) 筆記テスト(種目ごと) 筆記テスト(体育理論)	実技テスト(発展) 課題プリント	授業観察 授業(学習)プリント
		50	50	50
	IV期【体育実技】 ○陸上競技 <ul style="list-style-type: none"> ・長距離走 ○体づくり運動 <ul style="list-style-type: none"> ・なわとび 	実技テスト(基礎) 筆記テスト(種目ごと)	実技テスト(発展) 課題プリント	授業観察 授業(学習)プリント
	50	50	50	

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
----	---	----------	----

1セ メス ター	4	I期【体育実技】 ○体づくり運動	35	
	5	○選択①		
	6	○体育理論 体育編2単元 運動・スポーツの学び方 1. スポーツにおける技能と体力 2. スポーツにおける技術と戦術		
	7	II期【体育実技】 ○選択②		
	8	○体育理論		
9	体育編2単元 運動・スポーツの学び方 3. 技能の上達過程と練習 4. 効果的な動きのメカニズム			
2セ メス ター	10	III期【体育実技】 ○選択③		35
	11	○体育理論		
	12	体育編2単元 運動・スポーツの学び方 5. 体カトレーニング 6. 運動やスポーツでの安全の確保		
	1	○陸上競技 ・長距離走		
	2	○体づくり運動		
	3	・なわとび		

5 その他

- ・ICT 機器等も活用しながら授業を展開していく。
- ・グループ活動や生徒同士の協同学習の場面も積極的に取り入れながら授業を行い、活動への参加姿勢も評価の対象とする。
- ・種目ごとに学習プリントを提出させ、その都度、評価していく。
- ・実技種目への参加姿勢、授業での取り組みを総合して評価していく。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	保健	単位数	1
		学年等	5年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	個人及び社会生活における健康や安全について理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身につける。
使用教科書 副教材等	現代高等保健体育(大修館書店)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。 保健に関する知識や現代社会に関する健康問題・環境問題について例を挙げて説明することができる。	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表している。 保健に関する知識や情報について、理解したことを言ったり書いたりしている。	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。 保健に関する様々な課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
評価点	100	100	100

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1セ メス ター	【保健編3単元 障害を通じる健康】 ライフステージと健康 思春期と健康 性意識と性行動の選択 妊娠・出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶 結婚生活と健康 中高年期と健康 働くことと健康 労働災害と健康 健康的な職業生活	・確認テスト ・第2回考査 知識・理解に関する問題	・授業プリント(ノート) ・第2回考査 思考・判断・表現に関する問題	・授業観察 ・学習プリント
		50	50	50
2セ メス ター	【保健編4単元 健康を支える環境づくり】 大気汚染と健康 水質汚濁・土壌汚染と健康 環境と健康にかかわる対策 ごみの処理と上下水道の整備 食品の安全性 食品衛生にかかわる活動	・確認テスト ・第4回考査 知識・理解に関する問題	・授業プリント(ノート) ・第4回考査 思考・判断・表現に関する問題	・授業観察 ・学習プリント

	保健サービスとその活用 医療サービスとその活用 医薬品の制度とその活用			
	さまざまな保健活動や社会的対策 健康に関する環境づくりと社会参加	50	50	50

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1セメ スタ ー	4	【保健編3単元 障害を通じる健康】 ライフステージと健康 思春期と健康	17
	5	性意識と性行動の選択 妊娠・出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶	
	6	結婚生活と健康 中高年期と健康	
	7	働くことと健康 労働災害と健康	
	8・9	健康的な職業生活 ○第2回考査	
2セメ スタ ー	10	【保健編4単元 健康を支える環境づくり】 大気汚染と健康 水質汚濁・土壌汚染と健康 環境と健康にかかわる対策	18
	11	ごみの処理と上下水道の整備	
	12	食品の安全性 食品衛生にかかわる活動 保健サービスとその活用	
	1	医療サービスとその活用 医薬品の制度とその活用	
	2	さまざまな保健活動や社会的対策 健康に関する環境づくりと社会参加 ○第4回考査	

5 その他

- ・ICT 機器等も活用しながら授業を展開していく。
- ・グループ活動や生徒同士の協同学習の場面も積極的に取り入れながら授業を行い、活動への参加姿勢も評価の対象とする。
- ・授業ごとにノートや学習プリントを提出させ、その都度、評価していく。
- ・第2・4考査と、授業での取り組みを総合して評価していく。

		用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。 「書くこと」 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。	用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えあおうとしている。 「書くこと」 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えあおうとしている。
評価点	100	100	100

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1セメ	Enrich Learning II Unit 2 Which sports can really be called sports? Unit 3 How do we choose what we eat? Unit 4 How have inventions changed history? Unit 5 What can we learn from traveling? Unit 6 How do people's personalities affect their behavior?	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・スピーチ、討論、要約、発表等	・振り返りシート ・授業中の行動観察 ・ワークシート
2セメ	Unit 7 Who should we celebrate on our money? Unit 8 How can we find out if news is real or fake? Unit 9 What is important when choosing a job? Unit 10 How can we improve our school? Enrich Learning III Unit 1 What thinking and study habits can help us succeed?	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・スピーチ、討論、要約、発表等	・振り返りシート ・授業中の行動観察 ・ワークシート

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1セメ	4月～9月	Enrich Learning II UNIT2 [題材内容] 年々人気を増すeスポーツの特徴を理解し、伝統的なスポーツとの違いや、スポーツをスポーツたらしめている条件とは何かを考える。 [言語材料] 受け身の不定詞/助動詞 do による強調 [言語活動] ある論題について、主張と根拠を明確にしなが、ディベートを行う。 [言語の働き] 勧誘する/断る UNIT3 [題材内容] 多様な食習慣の背景にある文化や、地球環境への影響について知る。「食べるものを選択する」という視点から、レストランのレビューやコメントも取り上げる。 [言語材料] 先行詞を含む関係副詞/否定語の倒置 [言語活動] レストランのレビューや、ほかのレビューへのコメントを書く。 [言語の働き] 提案する/説得する/妥協する UNIT4 [題材内容] ペニシリンの発明に至る経緯と、後世に与えた影響について理解する。さらに、現代のさまざまな発明品について、その意義を考える。 [言語材料] 強調構文/関係副詞の非制限用法	47

		<p>[言語活動] 有益だと思う発明品について説明する。</p> <p>[言語の働き] 想像したことを伝える／相手の考えを聞く</p> <p>UNIT5 [題材内容] 若者が旅行をすることの意義と問題点を踏まえて、進学・就職前に長期の休暇をとって見聞を広げる「ギャップ・イヤー」という仕組みへの賛否を考える。</p> <p>[言語材料] 接続詞＋分詞／完了不定詞</p> <p>[言語活動] 「ギャップ・イヤー」への賛成・反対の意見とその理由を説明する。</p> <p>[言語の働き] 希望を伝える</p> <p>UNIT6 [題材内容] 内向的な人の特徴や、性格が振る舞いに及ぼす影響について理解する。自分自身やクラスメートの性格の分析を通して、多様性についても考える。</p> <p>[言語材料] 部分否定</p> <p>[言語活動] 性格が振る舞いに及ぼしている影響について説明する。</p> <p>[言語の働き] 誘いを受け入れる／うまく誘いを断る</p>	
2セメ	10月 ～ 3月	<p>UNIT7 [題材内容] 日本の新紙幣の顔となる津田梅子や、アメリカの紙幣への掲載が計画されていたハリエット・タブマンについて知り、紙幣に取り上げるべき人物について考える。</p> <p>[言語材料] 受け身の進行形／be 動詞＋不定詞</p> <p>[言語活動] 紙幣に取り上げるべき人物について意見を述べ合う。</p> <p>[言語の働き] 自分について伝える</p> <p>UNIT8 [題材内容] フェイクニュースの歴史を知る。現在のインターネット上のフェイクニュースの見分け方についても学び、あるニュースの真偽を考察する。</p> <p>[言語材料] 複合関係副詞</p> <p>[言語活動] あるニュースの真偽について意見を述べ合う。</p> <p>[言語の働き] 話題を発展させる／いきさつを説明する</p> <p>UNIT9 [題材内容] 社会の変化を踏まえながら、今、仕事を選ぶ際に重要なことについて理解する。さらに、ある仕事を選ぶ理由や、その仕事への適性についても考える。</p> <p>[言語材料] 過去の習慣</p> <p>[言語活動] ある仕事を選ぶ理由やその仕事への適性を伝え合う。</p> <p>[言語の働き] 将来したい仕事をたずねる、伝える</p> <p>UNIT10 [題材内容] 制服、カリキュラムなどの面から、学校を改善するための提案とそれに対する反論を理解する。最後に、自分たちの学校をよりよくするための提案を考える。</p> <p>[言語材料] 未来進行形／未来完了形</p> <p>[言語活動] ディスカッションを通して考えを深め、効果的にプレゼンテーションする。</p> <p>[言語の働き] 助言を求め、与える</p> <p>Enrich Learning III</p> <p>UNIT1 [題材内容] 勉強や仕事に有効な考え方や習慣について学ぶ。</p> <p>[言語活動] 勉強の悩みについて助言し合ったり、効果的な勉強法を話し合ったりする。</p> <p>[言語の働き] 似た経験を述べ合う、言い換える</p>	58

5 その他

<p>【課題・提出物など】</p> <p>◎Unit Activity の発表、ライティング ◎授業用ワークシート ◎準拠『本文学習ノート』</p> <p>【評価方法】</p> <p>①言語活動の取り組み状況の観察(思考・判断・表現, 主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>②パフォーマンステスト[Unit Activity の発表, ライティング, Speaking Review Task](思考・判断・表現, 主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>③上記課題等の提出(知識・技能, 思考・判断・表現, 主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>④小テスト, 定期考査, 評価問題など(知識・技能, 思考・判断・表現)</p>
--

年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理・表現Ⅱ	単位数	3
		学年等	5

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>3つの領域別の言語活動および複数の領域を結びつけた統合的な言語活動を通して、「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」を中心とした発信能力の育成を強化し、特に論理的に表現する能力、基礎的な知識や技能を確実に習得し、それらの知識や技能を目的や場面、状況に応じて活用できる力を養う。</p> <p>また、英語を「聞くこと」や「読むこと」を通じて得た情報などを基にして、様々な場面に応じて適切に「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」ができ、あわせて論理的思考力や批判的思考力を養う。さらに、そうしたコミュニケーション活動や体験を通して、他を受け入れ、個人の価値を尊重することのできる豊かな心を育成し、自分の考えや自分たちの文化を外に発信していける力を培う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>Crown Logic and expressionⅡ(三省堂) Write to the point(数研出版)</p> <p>*DUAL SCOPE 総合英語(数研出版) *DUAL SCOPE 英語総合演習(数研出版)</p> <p>*Retelling Master(啓林館) *Vintage 英文法・語法 4th Edition(いいずな書店)</p> <p>*英語の構文 80UPGRADED(美誠社) *4年生から継続使用</p> <p>英熟語ターゲット1000</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>[知識] 各課の文法等について理解している。表現形式と機能を理解している。</p> <p>[技能] 聞いて得た情報を伝えたり、相手に薦める際のやり取りの表現の機能に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用して、自分の考えを伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、それを基本的な語彙や文法を活用して表現して伝えたり、相手からの質問に回答したりしている。論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、聞き手を意識しながらスピーチしたりディスカッションやディベートができる。</p>	<p>主体的に考え、複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、それを基本的な語彙や文法を活用して主体的に表現して伝えようとしたり、相手からの質問に回答したりしようとしている。主体的に考え、複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、聞き手を意識しながら主体的にスピーチやディスカッションやディベートができる。</p>
評価点	100	100	100

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セ ×	<p>L1. Dear Mayer</p> <p>L 2 . Manga Find Ever-increasing Global Fans</p> <p>L3. Japanese Baths</p>	<p>・定期考査等</p> <p>・小テスト</p> <p>・ワークシート</p>	<p>・定期考査等</p> <p>・スピーチ、討論、要約、発表等</p>	<p>・振り返りシート</p> <p>・授業中の行動観察</p> <p>・ワークシート</p>

	<p>L4.Innovators of the World</p> <p>L5. Don't Throw Us away!</p> <p>L6.Urban Development</p>			
2 セ メ	<p>L7.Food and Culture in the World</p> <p>L8.The Potential for E-Sports</p> <p>L9.All Gone?</p> <p>L10.The "New Normal" at School</p> <p>P1.Are They Just like Us? / International Students</p> <p>P2. Introduce Japanese Culture</p> <p>P3. Life With Modern Technology Is Better than the Simple Life We had in the Past</p> <p>P4.Who Discover America</p>	<p>・定期考査等</p> <p>・小テスト</p> <p>・ワークシート</p>	<p>・定期考査等</p> <p>・スピーチ、討論、要約、発表等</p>	<p>・振り返りシート</p> <p>・授業中の行動観察</p> <p>・ワークシート</p>

4 指導の計画

課	タイトル	主な言語材料	題材/場面	はたらき	配当 時数
L1	Dear Mayor	希望、願望 / 依頼、要請 / 許可	人生・生き方/ディスカッション、手紙を書く	挨拶する、自己紹介する、希望を述べる、依頼する、許可を求める	5
L2	Manga Find Ever-increasing Global Fans	感情を表す表現	漫画・芸術/ディスカッション、エッセイを書く	説明する、感動を表す、主張と理由を述べる、締めくくる	5
L3	Japanese Baths	忠告・義務/必要/提案・勧誘受動態	日本文化・異文化理解/ディベート、エッセイを書く	日本文化・異文化理解/ディベート、エッセイを書く	5
L4	Innovators of the World	時間的順序	人物・科学/ディスカッション、レポートを書く	説明する、意見を述べる	5
L5	Don't Throw Us Away!	例証/分類・列挙	社会問題/ディスカッション、エッセイを書く	話題を導入する、主張と理由を述べる	5

英語表現のまとめ①		動作動詞と状態動詞、自動詞と他動詞、冠詞			1
L6	Urban Development	空間配列・方向	都市計画／ディスカッション、エッセイを書く	話題を導入する、説明する、理由を述べる	5
L7	Food and Culture in the World	方法・様態／数量表現	料理・食文化／ディスカッション、エッセイを書く	話題を導入する、推量する、意見を導入する、説明する話	5
L8	The Potential for E-Sports	関係詞	スポーツ／プレゼンテーション、ディスカッション、エッセイを書く	話題を導入する、相づちを打つ、説明する	5
L9	All Gone?	原因・理由／目的／結果	生態系・環境問題／ディスカッション、エッセイを書く	話題を導入する、主張と理由を述べる	5
L10	M The “New Normal” at School	比較・対照／譲歩	教育／スピーチ、ディスカッション	話題を導入する、説明する、理由を述べる	5
英語表現のまとめ②		動詞、名詞、形容詞、副詞			1
P1	Are They Just like Us?／International Students		スピーチ・プレゼンテーション	話題を導入する、主張と理由を述べる、質問する、説明を求める、締めくくる、賛成する、反対する	3
P2	Introduce Japanese Culture		ディスカッション	話題を導入する、意見を述べる、相手の意見を確認する、賛成する、反対する、発言を促す	3
P3	Life with Modern Technology Is Better than the Simple Life We Had in the Past		ディベート	意見を述べる、主張と理由を述べる、繰り返す、言い換える、要約する、否定する、賛成する、反対する	3
P4	Who Discovered America		ライティング	意見を述べる、理由を述べる、言い換える、否定する	3

5 その他

<p>【課題・提出物など】</p> <p>◎提出用副教材</p> <p>◎授業用ワークシート</p> <p>【各考査成績の評価方法】</p> <p>①言語活動の取り組み状況の観察(思考・判断・表現, 主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>②パフォーマンステスト(思考・判断・表現, 主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>③上記課題等の提出(知識・技能, 思考・判断・表現, 主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>④小テスト, 第1回～第4回考査, 評価問題など(知識・技能, 思考・判断・表現)</p>
--

年間指導計画表(シラバス)

科目名	情報 I	単位数	2
		学年等	5年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
使用教科書 副教材等	使用教科書:最新情報 I (実教出版) 副教材:ポイントでマスター 基礎からはじめる情報リテラシー Office2019 対応 事例でまなぶプログラミングの基礎 Python 編 情 I705 最新情報I 学習ノート 新課程

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>実習を通じて、パソコン操作、ソフトウェア活用、プログラミングの技能を修得している。</p> <p>パソコンや情報通信技術等についての仕組みについて理解し、著作権や情報モラル等の知識を身につけている。</p>	<p>実習などを通して、情報通信技術に関する様々な事柄を論理的・総合的に考察しようとしている。また、情報モラルを身に付け適正な判断をして表現しようとしている。</p>	<p>パソコン操作や情報通信技術に関するさまざまなことがらに高い関心を示している。授業・実習に意欲的に取り組み、知識・技能の向上に努め、より深く理解しようとしている。</p>
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	第1章 情報社会と私たち	・定期考査、実習課題等	・定期考査、実習課題等	・学習ノート、実習課題等
	第2章 メディアとデザイン			
	第3章 システムとデジタル化			
		200	200	200
2 セ メ	第4章 ネットワークとセキュリティ	・定期考査、実習課題等	・定期考査、実習課題等	・学習ノート、実習課題等
	第5章 問題解決とその方法			
	第6章 アルゴリズムとプログラミング プログラミング実習			
		200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数		
1セメ	4	第1章 情報社会と私たち ・1 情報社会	35		
	5	・2 情報社会の法規と権利 ・3 情報技術が築く新しい社会			
	6	第2章 メディアとデザイン ・1 メディアとコミュニケーション ・2 情報デザイン ・3 情報デザインの実践 Web ページ制作			
	7	第3章 システムとデジタル化			
	8	・1 情報システムの構成			
	9	・2 情報のデジタル化			
	また、1セメを通して文章作成ソフト、表計算ソフトについての実習を行う。				
	2セメ	10		第4章 ネットワークとセキュリティ ・1 情報通信ネットワーク ・2 情報セキュリティ	35
		11		第5章 問題解決とその方法 ・1 問題解決	
12		・2 データの活用 ・3 モデル化 ・4 シミュレーション			
1		第6章 アルゴリズムとプログラミング ・1 プログラミングの方法			
2		・2 プログラミングの実践			
3					
また、2セメを通してプレゼンテーションソフト、プログラミングについての実習を行う。					

5 その他

・授業は教科内容に平行しつつ実習も行っていく。

特にプログラミング実習についてはなるべく多くの時間を配分する。

1セメ:情報機器の基本の習得に重点をおく。

2セメ:コンピュータのより実践的な活用に重点をおく。

キータッチ練習については年間を通じて行う。